

湖西大学への交換留学 12月

期末考査

12月は期末考査がありました。韓国語の授業は全部で3つあり、そのうち1つはパワーポイントを使った個人発表、残り2つはグループ発表と筆記試験という形式でした。どの授業も極端に難しい内容ではなく、事前にしっかり準備して試験や発表に臨むことができたので、自分の実力を十分に発揮できたと思います。一方で、他3つの韓国人学生と一緒に受ける授業では、すべて筆記試験でした。内容はかなり難しく、専門的な表現も多かったため、正直あまり手ごたえは感じられませんでした。

バディ・同部屋の人たちとのお別れ会

12月は留学の最終月だったため、バディとしての活動期間はすでに終わっていましたが、最後に一緒にご飯を食べに行きました。バディの方が以前アルバイトをしていたサムギョプサルのお店で食事をし、その後カフェに行ったり、みんなで写真を撮ったりして過ごしました。これまでの感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡したところ、とても喜んでくれて嬉しかったです。

留学後

すべての授業は12日に終了し、13日から16日までソウルに滞在しました。その期間は両親と合流して観光をしました。寮を出る当日は、同部屋だった人たちが見送りをしてくれ、とても名残惜しかったです。KTXでソウルへ移動し、翌日から両親と合流する予定だったため、その日は最近知り合った韓国人の友達とご飯を食べに行きました。その日は雪が降っていてとても寒く、さらに終電を逃してしまいました。その結果、韓国に来て初めてPCバンに行くことになりました。2時間で約500円と想像していたよりも安く、もっと早くから行っておけばよかったと少し後悔しました。翌朝ホテルに戻り、その後金浦空港まで両親を迎えて行き、無事に合流しました。

留学を振り返って

3月から始まった約1年間の留学が、ついに終了しました。もともとは「大学生のうちにしかできないことをやってみたい」という思いつきから始まった留学で、明確な目標を持たずに韓国へきました。しかし、今振り返ると本当に留学して良かったと心から思っています。留学当初、韓国語がうまく話せなかった僕に対して、生活面や学校生活について丁寧に教えてくれたり、ご飯や遊びに誘ってくれたりと、出会う人全員がとても温かく、素敵な人たちでした。韓国で馬鹿にされたり、差別されたりして嫌な気持ちになったことは一度もなく、常に親切に接してもらいました。不安だった韓国語も、韓国人と積極的にコミュニケーションを取ることで、自分でも実感できるほど上達したと思います。留学最終日に、「1年間同部屋だった人から『韓国に来たばかりの頃と比べて、韓国語が格段に上達している』と言ってもらえたことが、とても嬉しく、印象に残っています。

